

お客様紹介

安達 寿雄 様
かおり様



今回ご紹介させて頂いた皆さまは、栗東市にお住まいの安達寿雄様、かおり様のお宅です。取材をさせて頂いた日は暖かく、いい天気、取材日和でありながら、いなと車中で思いながら、安達様の家に向かいました。いい天気ということもあり、外観の壁の色がとても映え、第一印象は「白くて明るい」というものでした。お宅のリビングに進ませて頂き、まず目に飛び込んできたのは、淡い桜色のオープンキッチンでした。ご家族の皆様が揃ってつるぎる場所の中心にオープンキッチンがあり、計画当初からLDKを明るく、広い空間を持ちたいというのがご夫妻の強いこだわりでした。くつろぎの場の真ん中にキッチンを配置し、その周りを囲むようにリビング、ダイニングを配置させ、キッチンにいれば、どの場所も見渡せる配置を考えられました。LDKの中心にオープンキッチンがあることで、家族全員で顔を合わせ、料理し、食事がとれ、必然的に選ばれたリビング、ダイニングの家具も明るい白



ご友人が来られた際には、外から見る部屋のイメージよりも、実際に家の中に入ったときの部屋が広いという感想を持たれる方がおられたそうです。キッチンとリビングの間に、垂壁を作らなかつたことという点も、リビング全体が視覚的にも広く見え、ご家族に満足していただいています。また、かおり様のご提案で、お出かけに前や、洗濯物の乾きが悪かつたときなどに、ダイニングの天井に仕舞い込める物干金物を設置されたことが、思っていた以上に皆様も重宝されているそうです。家を計画される上で、最も気を使われたことが、「音」への対処法でした。安達様の家は、JR沿線ということもあり、朝早くから、夜遅くまで列車の通る音がし、安達様とご両親との生活スタイルが、多少違うということ、ご家族の生活の音について、当初より気にしておられました。弊社も防音に対してのいろいろな材料や工法をご提案し、防音対策を安達様と一

緒に考えさせて頂いた。お風呂を二親の寝室の真横に配置したことも、防音シートを壁中に貼り、断熱材を通常のものより密にするなど、施工時に工夫し、問題解決に当たりました。二親の部屋からのお風呂の音についてお母様にお伺いしましたところ、シャワーを使用しているときの音、湯船に浸かっているときのお湯の音などは、全くといっていい程聞こえないそうです。ご夫婦に、これから家で何かしてみたいことはありますかとお聞きしますと、「この家に住んでまだ夏を過ごしたことが無いので、ダイニング横にあるウッドデッキでバーベキューをすることが楽しみだそうです。どのようないい笑顔で、終始気持ちのいい笑顔で、ご回答いただき、ありがとうございました。今度とも宜しくお願ひ致します。



引越しというのは、なかなかの大仕事です。引越し初心者の場合なにか手をつけられないのか、わからないという人も少なくないようです。ここでは引越しの準備に関するポイントをご紹介します。

スケジュールを組もう

引越しが決まったら、まずは転居先の住まいがいつ入居するポイントを簡単に紹介いたします。

引越し日を決めます。引越し日が決まったら、運送業者を手配します。いくつかの業者に問い合わせて見積りをとるとよいでしょう。業者のプランによっては荷造りから転居先での荷解きまですべてをやってくれるようですが、予算を抑えたいならば、やはり荷造りは自分で。

ダンボールを集めて引越し前日までに荷造りができるようにスケジュールを組みましょう。スケジュールには、各種の届け出、電話・電気・ガス・水道の手配、不用品の処理、住所移動の挨拶状の手配も組み入れます。引越し当日は貴重品や身の回りの品は携帯するようにし、荷物を出したあとには部屋の掃除を軽く行います。近所への挨拶もお忘れなく。

また、転居先では、家具や食器類などに破損がないか、確認しましょう。引越し先で近所まわりは引越し当日でなくても、あらかじめ片づけがすんだのちに伺えばよいでしょう。

家具配置、収納計画を立てよう

転居先の間取り図に、家具をどのようにレイアウトするのか、またどの部屋にどれを収納するのかを書き込んでおきましょう。転居先を下見した際に部屋の天井高や開口部の大きさ、収納スペースの広さなどを採寸しておくとい良いでしょう。引越し当日には書き込みをした間取り図に基づいて荷物を運び入れてもらいます。2階より上の室内へ荷物を運ぶ場合は、階段を通って運ぶのこともあらかじめ確認しておきましょう。

引越しの後

荷解きは自分でやるには中々一日では終わりません。荷物の量や家族の人数にもよりますが、取りあえず目安の日数を決めて(例えば一週間)じっくりとやりましょう。一日目は台所・浴室・トイレ・下駄箱など、すぐ使うものから開けます。尚、時間が経てば経つほど作業が進まなくなる恐れがあるので一週間位ですべての箱を開ける事をお勧めします。

湧水スポット

暖かく、過ごしやすい季節になってまいりました。今回は、暖かく気持ちの良いこの時期に、「湧水」のスポットとして、「泉神社」をご紹介します。古くから境内に霊泉が湧くことで知られるこの泉神社は、「長寿の水」として、大変人気があります。近隣はもちろんのこと、遠方からも大勢の方が来られる、すでにご存知の方もおられるかもしれません。昭和60年、環境庁より日本名水百選の認定を受けています。千有余年、枯渇することなく、毎日4,500トンも湧出し、夏場はひんやりと冷たいそうです。



▲泉神社の湧水

水温は年間を通して約12.5℃、PH7.5(弱アルカリ)で、特色としては、少し甘く、まろやかな感じで、コーヒーマシーンや料理に使うと味がぐっと引き立つそうです。この水で炊いたご飯は、夏場傷みにくく、水を作った時には、透明度の高い水ができるそうです。お正月、お餅を水につけておいても、カビの発生が遅くなるそうです。長期間、保存ができ、生花は水道水よりも長持ちするそうです。ただ、自然水なので飲用時には必ず煮沸する必要があります。ミネラルが多く含むこの泉神社の湧水、ペットボトルなどに入れて持ち帰ると、きつと喜ばれるかもしれませんね。休日には足を伸ばされてみてはいかがでしょうか？

所在地・伊吹町大清水二二六六

社員紹介

ちよびとびサインな 頑張る屋さん

4月6日から工務部に配属になりました村富勇輝です。出身は愛荘町長野で、高校は彦根工業高校(建築科)を卒業しました。そして、今年篠原のポリテクカレッジ滋賀(住居環境科)を卒業し、3月30日に「大兼工務店」に入社しました。

好きなスポーツはサッカーと野球です。サッカーは世界のサッカーを見るのが好きで、ゲームでも楽しんでます。野球は中学校の部活で野球部に所属していて、3番ショートでレギュラーでした。「大兼」でも毎年8月頃に会社に野球の試合がある



むらとみ ゆうき
こんにちは! 村富勇輝です